

参考資料

- 1 基本計画見直し方針 ----- 136
- 2 策定体制・経過 ----- 138

1 基本計画見直し方針

第一次山陽小野田市総合計画(基本計画) 見直し方針

1 趣旨

新市建設計画を踏まえ、平成19年度に策定した山陽小野田市の指針となり、実効性のある新しい総合計画の基本計画は、計画期間は平成20年度から平成29年度までの10年間であるが、中間年度に見直しを行うこととなっている。このため、中間年度である平成24年度に見直しを行う。

2 基本計画見直しの考え方

- (1) 基本構想は、平成20年度から平成29年度までの10年間の本市の目指す将来像を示し、それを実現するための施策の大綱・方針を明らかにしたものであり、原則として変更しない。
- (2) 基本計画について、社会経済情勢の変化に加え、平成20年度から平成24年度(見込み)までの基本計画の取組を評価・総括した上で、見直しを行う。
- (3) 基本計画の構成は、これまでに引き続き、施策ごとに基本方針、目標指標、現状と課題、施策体系、施策展開について明示する。
- (4) 基本計画の見直しに当たっては、市民の声を反映した計画となるよう検討する。

3 基本計画見直しの基本的視点

(1) 社会情勢の変化への対応

東日本大震災をはじめ、全国各地で相次ぐ自然災害や本市でも平成22年7月の厚狭川大水害の経験から防災・減災に対する意識が増大している。また、少子高齢化・人口減少社会を迎え、人口定住策が求められるなどめまぐるしい社会情勢の変動を的確に捉えた計画とする。

(2) 基本計画の継続性の確保

引き続き、基本構想に掲げた本市の将来像を達成するため、これまでの基本計画における取組を継続し、一貫性のある計画とする。

(3) 計画の実行性の確保

これまでの事務事業や評価等の結果を踏まえ、より実行性のある計画とする。

4 実施体制

(1) 市民参加

市民参加による市民本位のまちづくりの具現化に資するため、以下の手法を用いて、基本計画の見直しに市民の意見や提案を反映させる。

○市民アンケートの実施

山陽小野田市民のまちづくりに関する意向を5年前と比較して把握するため、市民アンケート調査を実施する。また、前回同様、将来の山陽小野田市を担う若者のまちづくりに関する意向把握やまちづくりのアイデアを抽出するため、市内の中学生を対象にアンケート調査を実施する。

○まちづくり市民会議基本計画見直し検討部会の開催

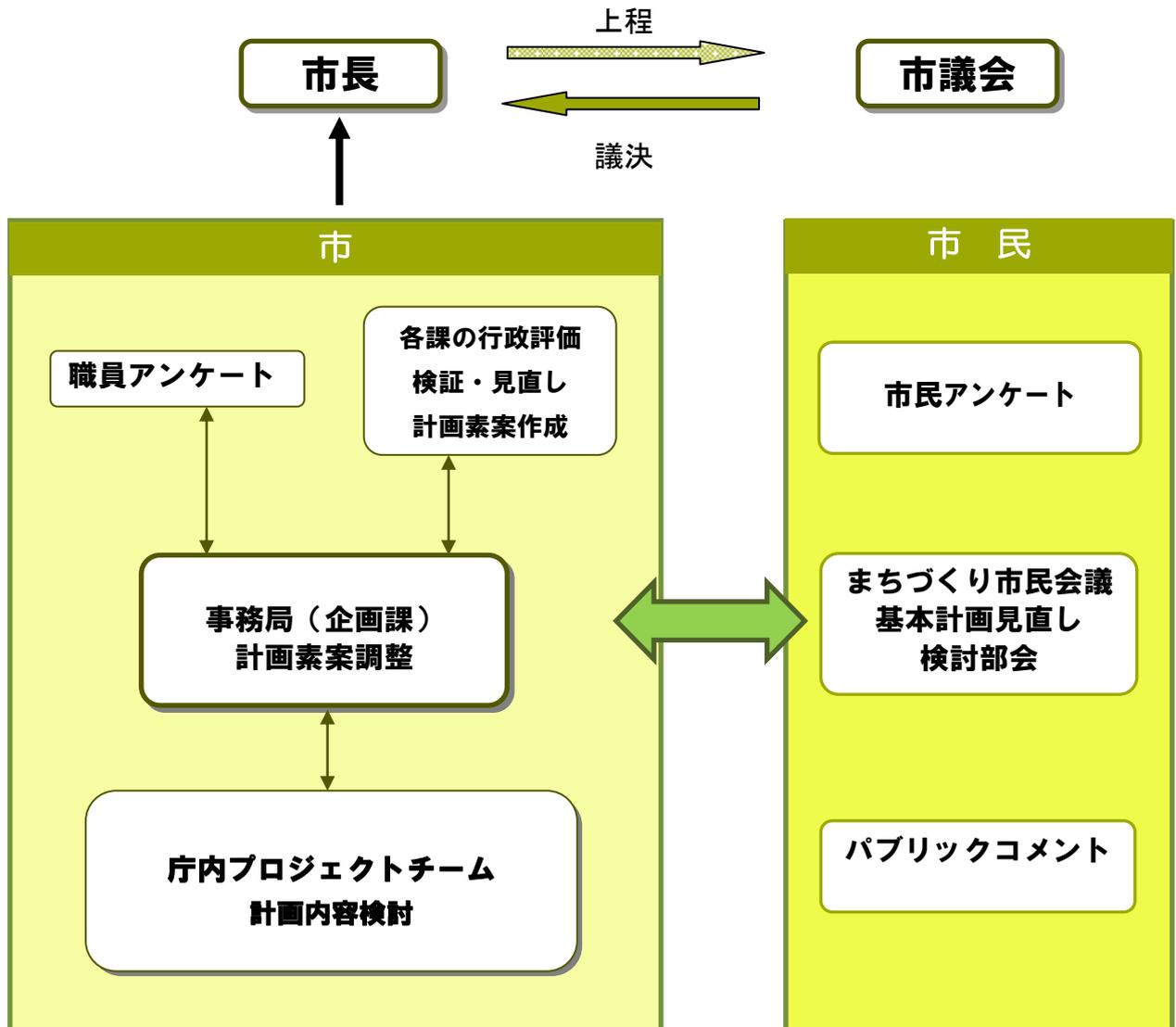
まちづくりにおいて、市民と行政の協働による実践を推進するため、市民参加による意見交換及び市のまちづくりに関する提言を行うための「まちづくり市民会議基本計画見直し検討部会」を開催する。

○パブリック・コメントの実施

基本計画の見直しについて、庁内プロジェクトやまちづくり市民会議基本計画見直し検討部会において調整された案について広く市民の意見を求めるパブリック・コメントを実施する。

2 策定体制・経過

(1) 策定体制



(2) まちづくり市民会議基本計画見直し検討部会委員名簿

所属等	氏名
公募委員（座長）	岩佐 謙三
公募委員（副座長）	山中 一豊
公募委員	伊藤 博夫
公募委員	塩田 賢二
公募委員	白川 渉
公募委員	杉本 保喜
公募委員	長谷川 久子
公募委員	松尾 知勝
公募委員	吉村 紀明

(3) 策定経過

時期	内容
平成24年 5月	基本計画見直し方針策定
平成24年 7月	市民アンケート実施（市民3,500人、中学生2年生565人）
平成24年 7月	職員アンケート実施（791人）
平成24年 8月	アンケート調査結果公表
平成24年 9月	まちづくり市民会議「基本計画見直し検討部会」委員募集
平成24年11月	基本計画見直し検討部会（第1回）
平成24年12月	基本計画見直し検討部会（第2回）
平成24年12月	基本計画見直し検討部会（第3回）
平成24年12月	基本計画見直し検討部会（第4回）
平成25年 1月	パブリックコメントの実施
平成25年 1月	基本計画見直し検討部会（第5回）
平成25年 2月	基本計画見直し検討部会「提言書」提出
平成25年 2月	パブリックコメントの実施結果公表
平成25年 3月	平成25年第1回（3月）市議会定例会（議決）